学年・単元名	○○中学校　　第１学年　　領域：球技　　種目：ゴール型『バスケットボール』		
資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
単元目標	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること、仲間の学習を援助しようとすることなどや、健康・安全に気を配ることができる。
学習に即した評価規準	1　球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解できる。 2　マークされていない味方にパスを出すことができる。 3　パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。 4　パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。	1　提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができる。 2　仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けることができる。 3　提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができる。	1　バスケットボールの学習に積極的に取り組もうとしている。 2　マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 3　一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。

指導と評価の計画

時		1	2	3	4	5	6	7	8	9（本時）	10
ねらい		【知・技】 ・バスケットボールのゲームの特性を理解する事ができる。	【知・技】 ・様々な運動を通してバスケットボールに触れ、ボール操作に慣れることができる。	【知・技】 ・基礎的なパスができる。 【態度】 ・主体的に学習に取り組むことができる。	【思・判・表】 ・どのようにしたらパスをつなぐことができるか他者に伝えることができる。 【態度】 ・主体的に学習に取り組むことができる。	【知・技】 ・ドリブルでボールをキープすることができる。	【知・技】 ・ドリブルシュート(レイアップ)が打てるようにできる。 ・シュートしたボールをリングに当てることができる。	【知・技】 ・パスを貫ってシュートを打つにはどこに動いたら良いか考えることができる。	【思・判・表】 ・習得した知識を用いて仲間に課題や出来栄えを伝えることができる。	【思・判・表】 【態度】 ・これまで学習したことを生かしながらプレイし、考えを伝え合うことができる。	
学習の流れ	0	■オリエンテーション ・バスケットボールの競技特性、及び成り立ちなどの解説 ■授業全体(10時間)の進め方の説明 ■試しのゲーム ・5分間の練習の時間をとった後に、班わけをしてゲームを行い、技能のレベルを確認する。	■前時の復習 ・前時の学びから本時の学習課題の共有 ■ハンドリング ・ボールを自在に操つることができるよう、ボールの中心を捉え、手のひらや指先を使って練習を行う。 ・頭の周り ・腰の周り ・足の周り ・8の字で回す ・クロスキャッチ ・後ろキャッチ ■キャッチャーボール	■パスの練習（25分） ・チェストパス ・バウンド ・ワンハンドプッシュパス　（デフェンスをかわしてパスを出せる。） ■ミニゲーム（10分） ・別のパスを出そう！	■パスの復習（10分） ■４対２（ハーフコート） ■グループワーク（３分程度） ■共有 ■４対２ ■４対２（回数ゲーム） ■回数の発表	■前時の復習 ・前時の学びから本時の学習課題の共有 ■ドリブル ・体育館1周 ・上手い人のまねをしながら１周 ■ビンゴリレー ・５人１チームで、ドリブルをしながらビンゴを完成させる。 ・バトンパスの時にパスを5回してから次走者をスタートさせる。 ■本時のまとめ ・ドリブルでボールをキープする	■前時の復習 ・前時の学びから本時の学習課題の共有 ■レイアップ ・三角パスから、レイアップシュートの練習をさせる。 ・逆方向もやらせる。 ■ゴール下シュート ・左右交互にシュートを打たせる。 ・２分計り、何人連続でリングに当てられるか勝負させる。 ■本時のまとめ ・ドリブルシュート（レイアッ	■前時の復習 ■アップ ■課題 「タグ・バスケットボール」 ■練習① →やり方の確認 ■交流 →上手く出来なかったところの話し合い ■練習② ■まとめ	■前時の復習 ■アップ ■課題 前回の続き ■練習① →どうやったらシュートを入れれるかな？ ■チーム内で作戦会議 ■練習② ■まとめ	■課題解決運動 →チームの課題に合わせたパス・シュート・ドリブル練習 ■前時までの振り返り ■3対2ハーフコートゲーム →ゴール前の空間を意識しながら、シュートを打てる位置を考える。 ■シュートエリアゲーム →エリア内からしかシュートが打てないゲーム.エリア内からパスをもらわないと打てない。 ・活動していないチームは付箋を	

	50		・ペアでキャッチボールを行う ・右投げ ・左投げ ・両手投げ ・ワンバウンドパス ・片方がチェストパス、片方がバウンドパス ■ドリブル ・右手、左手ドリブル ・両手で交互に ・下を見ないでドリブル ・ハーフコートで、ドリブルをして帰ってくる（シュートさせてもいいかも） ・ペアを作って、ドリブルジャンケン ・応用して、ドリブルであっち向いてホイ ■本時のまとめ ■次回の予告			ことができたか振り返る。	プ）が打てるようになったか、シュートしたボールをリングに当てることができたか振り返る。			用いて、みて感じたことを書き、共有する。 ■全体交流 ■整理運動	
評価計画	知識・技能	①	④			④		③			
	思考・判断・表現等				①				①	③	

	主体的に学習に取り組む態度										